

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

募集期間：令和3年10月16日（土）～令和3年11月4日（木）

募集方法：メール、郵送、FAX、窓口持参

募集結果：提出人数9名、意見数42件

以下に寄せられたご意見、町の考え方、第6次総合計画基本構想の修正の有無について記載します。

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想 修正の有無
1	<p>〈スマートインター周辺開発に伴う質問〉 住民としては、開発予定地の全貌は見えてきつつありますが、それへのアクセスがどう予定されているのか知りたい所です。</p>	<p>商業開発予定地へのアクセスは県道南新井前橋線バイパスと県道前橋伊香保線バイパスが主となります。また、東側インターの出入口部は交差点形状となり、吉岡バイパスに向けて道路が整備されます。 なお、商業開発予定地の北側に通じるアクセスについては、現在、道路改良の整備(町道)を進めております。</p>	無
2	<p>先日免許証更新の際、県警が注目する交通要所として渋川警察署の管内では「上部道路からの道路とリバートピアからの道路の交差点付近」が唯一挙げられていました！管内最大の関心事が吉岡にあったとは本当に驚き！ ① 前橋・田口の「食の駅」とも重なる吉岡の「ジョイフル本田」は高速料金不要のアクセスで、伊勢崎・桐生からも手が届く。そういった他の自治体への連携の予定・構想は？ ② 既にご存じとは思いますが、渋川警察署の認識をどう解釈しているか？ ③ 西側予定地への経由アクセスはどう構想しているか？</p>	<p>①前橋市や渋川市との連携事業を進めております。他の自治体との連携につきましては、今後の検討課題としたいと考えております。 ②ご意見のとおり、交通事故が多い箇所であると認識しております。 ③県道南新井前橋線からのアクセス道路(橋梁整備)が必要であると認識しております。</p>	無
3	<p>これからインター周辺の開発は東のジョイフル、西のもっと広い産業団地と目まぐるしく対応を求められるでしょうがそのグランドデザイン概要を知りたいと思います。パブコメ用コメントや土地利用検討委員会への話でなく、住民の立場からの質問です。回答不可の場合、構想でもOKです。</p>	<p>おおむね20年後の将来を見据え、都市構造の目指すべき方向性(ビジョン)を示す「都市計画マスタープラン」では、上武道路、前橋伊香保線(吉岡バイパス)、高崎渋川線バイパス及び南新井前橋線バイパスをまちづくりの軸、駒寄スマートICと長期的課題となりますがJR新駅をまちづくりの核としています。同時に、無秩序な土地開発や空き家の発生防止、農地の保全を図りながら、持続可能なまちづくりを進めてまいります。 町ホームページでは「都市計画マスタープラン(P53)」により、まちづくり方針図をご確認いただけますのでそちらもご覧ください。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
4	<p>第5次総合計画「第6章 土地利用構想」の「3. 土地利用方針」の「(6)新産業ゾーン」において、駒寄インターチェンジと吉岡バイパス沿道へ優良企業の誘致を進めると謳っていたのと同様に、第6次総合計画基本構想(素案)においても、インターチェンジ周辺の大きな変化に対応していくとありますので、IC周辺の「第一種農地」の見直しを進めていただきたいと思います。ご承知のとおり、第一種農地は規制が強く農振除外が実質的に不可能なため、企業側が当地に進出したいと思ひ、農振除外の申請をしても許可が下りず、企業進出の障害となっております。総合計画からは話がそれますが、都市計画マスタープラン「第3章 まちづくり構想」においても、当地を「新産業ゾーン」として位置づけ、企業誘致を積極的に進めていくとあり、町の計画と実態とで矛盾が生じていると感じております。</p> <p>農業者の高齢化が進み、新規就農者の増加・定着が見込めない状況下で、農業の担い手が不足し、遊休農地が増えているようです。当地を優良農地として保全していても近い将来、「大規模荒廃農地」となってしまうのではないのでしょうか。であるならば、規制を緩和し、企業進出を促した方が町としては税金が増え、地主としても土地の有効活用ができ、お互いにメリットがあると考えます。</p> <p>優良農地の保全は大事なことでしょうが、農業をしない地主側の立場からすると、行政から機会損失を被っていると思えないのです。農業以外に全く利用価値のない土地ならば諦めもつきますが、県内きっての発展の見込める地域ですので、宝の持ち腐れ状態です。メリハリをつけた土地活用を実践していただきたいと思ひます。</p> <p>基本構想に対するパブリックコメントから少々話がずれているかもしれませんが、町へ一町民としての意見が多少なりとも届けば幸いです。よろしくお願ひいたします。</p>	<p>第一種農地とは、農地法で定められた良好な営農条件を備えている農地のことです。集団的かつ効率的な営農が見込まれることから、例外規定を除いて原則的に農地転用が認められてはおりません。農地は、農業生産における重要な基盤であり、保全していくことが不可欠となります。活力ある産業には農業も含まれ、今後におきましても農地法に従った判断を行っていくこととなります。</p> <p>そのような中、駒寄スマートICの大型車対応化等により、周辺部の商工業地としてのまちづくりへの活用が期待され、令和元年度に商業系用途地域の設定を行いました。吉岡町は開発圧力が高く、今後も農地の減少が懸念される中で、農業を基幹産業としてきた町の成り立ちを踏まえながら、今後においても都市と農地の健全な調和に努めてまいります。</p>	無
5	<p>吉岡町は中世の鎌倉街道、近世の三国街道や佐渡街道、伊香保街道など街道筋の宿場町として栄えてきました。鎌倉街道は関越自動車道として、七日市は駒寄PA・SICとして復活を遂げました。三国街道は高崎渋川線、伊香保街道は前橋伊香保線として吉岡町の物流に寄与しています。また佐渡街道に沿う形でJR上越線が走り、北に八木原宿、南に総社宿を擁し、八木原駅、群馬総社駅として通学・通勤の足として活用されています。しかしながら佐渡街道と伊香保街道の結節点である大久保宿には駅はありません。</p> <p>吉岡町は、これまでは恵まれた立地条件により道路ネットワークが進み、人口増加率の高い町として発展してきました。しかしながら世の中の動きでは、労働者不足、人口減少、行財政が課題となっています。これら課題解決策として上越線の新駅設置を提案します。道路ネットワークと、新駅を繋げることで高齢者の交通手段、働く場所が見直され、通学・通勤の時間が短縮できます。道路ネットワークの人流も大事です。プラス、交通弱者の人流を増やすことで労働者不足、人口減少、行財政の課題を少しでも埋められる可能性は大きいと思ひます。</p> <p>新駅を、街づくりに生かすべきまちの強みとして加えてほしいと思ひます。</p>	<p>吉岡町は古くから交通の要衝として栄えてきました。また、現在においても恵まれた立地条件と広域的なアクセスの良さを背景に人口も年々増加しており、この傾向はしばらく続くことが予想されています。</p> <p>ご指摘のとおり、現在吉岡町には駅が存在しておらず、要望等あることは十分承知しております。新駅設置に関しては、財政的負担等の課題もございますが、まちづくりの観点からも、あらゆる可能性を含み長期的課題として引き続き検討してまいります。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
6	<p>素案記述「吉岡町は、…豊かな自然と歴史や伝統と調和して、…住宅地の開発など暮らしやすい都市基盤の整備が進んだ魅力ある町へと変貌を遂げてきました。」 上記部分の記述は、実態とかけ離れており、下記の面を含んだ内容に修正を求めます。 記：近年の傾向として、幹線道路の開通に合わせて大型商業施設などが出店され生活の利便性が向上してきている反面、未整備な市街地や畑地・未利用地などに急増する住宅の建設や事業用地への変換や資材置場が設置されるために、いたるところで樹木の伐採、残土による(一部産廃ごみも含まれた)盛土造成が行われており、雑然とした見苦しい景観をなしている状況もあります。素案で述べられている「豊かな自然と歴史や伝統と調和して」魅力ある町に変貌することを望んでいますが、現状は豊かな自然と歴史を疎かにした政策と執行により都市整備が追いついていない状況です。</p>	<p>吉岡町は交通網の整備と大型商業施設などの出店により生活の利便性が向上している一方で、豊かな田園風景や農地の減少も見られ、既存都市施設と都市基盤の活用、維持・整備、自然環境との調和に配慮したまちづくりが重要であることは認識しております。 ご指摘の点を踏まえ、調和のとれた魅力ある町と感じていただけますよう、まちづくりの観点における貴重な意見として参考とさせていただきます。</p>	無
7	<p>別途関連する資料として「都市マスタープラン」の中で土地利用の変遷図(平成10年と平成24年)を見ることができですが、その資料にある土地利用の変遷図は、最新版が平成24年時点のものであり、すでに10年程度が経過していますので、現状の実態がわかる最新の資料を作成すべきではないでしょうか。 なお、平成24年の土地利用図には間違った部分が散見されますので、最新版を作成するに当たっては地元の人に協力を求めて正確なものを作成してください。</p>	<p>土地利用図においては、おおむね5年ごとに行う「都市計画に関する基礎調査」の結果を基に作成しております。都市計画マスタープランの改訂等を行うに当たりましては、町民の方のご意見をお聞かせいただきながら策定してまいります。</p>	無
8	<p>吉岡町総合計画・後期基本計画の各施策の進捗度合の総合評価が92.1点と記載されています。その評価者は各主要施策の担当部署による自己評価点ですが、自己評価と併せて第三者による評価をとり、評価・達成度の検証がなされるべきです。 当方の感想としては、点数の高さに違和感があります。 行政の継続性を踏まえて今後の施策立案のためにも、自己評価で達成できなかった項目や部分については具体的な要因などを洗いざらい取り出して総括すべきではないでしょうか。</p>	<p>自己評価により洗い出された課題が(2)まちづくりの柱ごとの課題であり、今回ご提示させていただいた総合計画基本構想は、当該課題を引き継ぎ、踏まえうえで策定を進めているものとなります。ご指摘の点を十分参考にさせていただき、今後の施策立案に努めてまいりたいと考えます。 また、評価者については課題とさせていただきますが、基本構想6ページの「(2)アンケート結果から見る吉岡町」は、『第6次総合計画策定のための住民アンケート調査』の結果の抜粋であり、当該調査におきまして住民の方に町の現状評価や満足度をお聞きしております。町ホームページにて結果等をご覧いただけます。</p>	無
9	<p>4【魅力的な自然と環境のまち】の記述の中で「自治会等の清掃…参加の減少も見られます」となっており、環境が守られない原因を住民側に押しつけている感があります。 むしろ、役所担当課は環境保全を考慮しない盛土造成、造成後の資材置き場の放置などによる自然環境や居住環境悪化の事象に対して、住民からの相談に向き合うことなく、問題事象を放置しており、かかるテーマを認識されているか疑問であり、到底課題が達成されているとは思えません。 今後の課題として引き継いで【魅力的な自然と環境のまち】の推進をすべきではないでしょうか。</p>	<p>本項目における趣旨としては、自治会等を含む清掃ボランティアの方々のご尽力により良好な環境が保たれておりますが、ご都合等もあり参加される方の減少も見られるという、事実を述べているのみであり、決して環境が守られない原因を住民の皆様に押し付けているということではありません。 また、様々な事象について放置しているのご指摘ですが、ご意見については真摯に受け止めさせていただき、引き続き【魅力的な自然と環境のまち】の推進に努めてまいります。</p>	無
10	<p>「ブランド力と郷土愛」のポリシーに賛同します。 豊かな自然、伝統ある歴史を生かした同様の課題はあったように思いますが、言葉だけでほとんど内容のない結果になっています。 今後の基本計画策定時には、ポリシーを実現させるための施策としてブランド向上に関する項目の洗い出し、詳細で具体的な課題、と成果内容を設定し段階を踏まえながら(フローを作成)、確実に実現をしていく戦略と手法が求められます。</p>	<p>第6次吉岡町総合計画では、まちづくりポリシーを全施策共通の概念としており、全施策により町のブランド力の向上を図っていくものと考えております。 なお、前期基本計画におきましては、施策毎に現況、課題及び取組を挙げ、また達成目標から計画の進捗管理を行うべく現在策定を進めております。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
11	<p>紡ぐ1～6に加えて、下記の紡ぐ7を加えてください。 「魅力的な自然、伝統・歴史を継承したまちづくりの推進」</p> <p>当方は10年前に東京郊外から吉岡町の西側ゾーンに移住し、緑豊かな環境を享受しつつ最近まで都心に通勤していたものですが、近年、周辺部では地域のシンボルともいえる桜の大き木が伐採され、また、河川域への不法ともいえる残土投棄や盛土、近隣居住域では隣接する畑地の用途変更に伴う排水不備による盛土、環境に配慮がされていない太陽光発電装置の設置、資材置場、産廃ごみに近い資材の堆積と作業による騒音・振動・臭気・粉塵などの問題現象が随所で行われ、排水不備による土砂流失・土壌汚染の発生などが想定されるなど、居住環境の悪化が顕著に表れています。当方が以前に住んでいた都心郊外では環境に配慮した整備として様々な工夫と配慮により克服してきた課題ですが、ここ吉岡町の良さであった「これまで継承してきた景観、自然環境に恵まれた自然環境」が、この10年で都市化による負の側面がいたるところに露呈してきているように感じています。幸いにも町の西側ゾーンには貴重植物や動物が存在し、いま危機状態にあるとも、まだ回復可能な状況ともいわれているようです。また、伝統的な景観としては大久保宿の民家や古墳群もかなり消失したものがあつたものもまだ一部が残されています。</p> <p>今後10年間で「町の宝といえるもの」を消失させないためにも「自然や伝統を活かした味わい深く、誇れるまち」として、町に残された、貴重な自然や伝統の継承・保存、活用することでブランド向上につなげることが必要ではないでしょうか。</p> <p>そのためには表層的な利便性・安易な利益を追求するのではなく、吉岡町が受け継いだ貴重な自然・伝統・歴史を住民の理解・協力と合わせて補助金等の資金の投入を行う必要があります。</p>	<p>ご指摘のとおり、貴重な自然や伝統の継承・保存を行いつつ、活用していくことで町のブランド力を向上させていければと考えております。町には多くの自然・伝統的価値のある資源が現存しております。その価値を見出し、見直すことから町のブランド力向上に活かしていければとも考えております。</p> <p>『紡ぐ7』の追加につきましては、ご指摘事項が関連する『紡ぐ』におきまして貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	無
12	<p>上野原地区に「ごみ最終処分場」を配置する提示についていきなり、上野原地区限定で説明会が開催されましたが、十分な説明がなく、そこでの質問や要請内容について回答がないまま、数か月が経過していますがどうなっているのでしょうか。</p> <p>かかる内容は第5次総合計画でも記載がなく、いきなり候補地になりましたので(十分な説明がないまま)理解してくださいでは、おかしくないですか。</p> <p>第6次の基本構想や基本計画に記されないまま、重要な政策が行われることがないようにしてください。</p>	<p>説明会でのご質問に対する回答については、地元自治会において回覧させていただき、ホームページにも掲載させていただいているところです。また、上野原地区よりその後提出いただいたご質問等につきましては、遅くなり申し訳ありませんが、現在回覧の準備をさせていただいております。</p> <p>最終処分場にかかる事業については、渋川地区広域市町村圏振興整備組合を主体とし行われるものですが、平成20年2月の協定に基づき、次期最終処分場の候補地の選定については吉岡町で行うこととなっていることから、選定委員会を設置し、検討をさせていただいております。</p> <p>ごみ最終処分場については、あくまで渋川地区広域市町村圏振興整備組合が主体となって実施する事業となりますので、連携して、また皆様のご意見をいただきながら事業を進めてまいります。</p>	無
13	<p>このパブリックコメントにしても、いつ募集しているか分かりませんでした。また、町のホームページも見ずらいものになっており、多くの普通の住民は気づきません。</p> <p>さらに、現状の第5次総合計画と閲覧しようとしたがホームページに掲載されていませんでした。</p> <p>住民の意見募集、住民への説明等の広報には、仕事で忙しい人やパソコンが使えない老人にも分かるようにしてください。</p>	<p>パブリックコメントの実施に係る周知、また方法につきまして不足があるなどのご意見を真摯に受け止めさせていただきます。また、ホームページの見やすさにつきまして改善を図り、町広報誌等を含め、わかりやすい情報発信を心掛けてまいります。</p> <p>第5次総合計画におきましては、閲覧に際しファイルのダウンロードが出来ない状況であり、大変ご迷惑をお掛けしました。</p>	無
14	<p>改善方法として説明会開催時には、何を何のために、どんな内容を説明するかなど、骨子を記載した資料を作成し、回覧で配布してください。</p> <p>また、住民代表を入れた審議会の出席者募集にしても、広くオープンにわかりやすく募集を募り、ましてや、ごみ最終処分場の配置等の検討には利害関係がある人を優先して採用するなど改善してほしい。(ごみ最終処分場の配置の件では近隣の一般住民は説明会の開催について、ほとんどの方が見落とし内容も初耳でした)</p>	<p>ご指摘の、説明会における資料の作成及び審議会の構成員等については、今後の参考意見とさせていただきます。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
15	<p>配置に関する要望を別途提出していますが、かかる総合基本計画等に反映してください。(別途提出している要望事項と配置計画案を同封)</p> <p><提案骨子> ごみ最終処分場は上野原地区に限定するのではなく、吉岡町以外の配置を含めた具体的でかつ詳細な検討をしてください。</p> <p>その上で、この地区に配置する必然性があるなら、現状の豊かな自然環境が壊されないように、ごみ処分場用地の周辺部15ヘクタール程度を緑地保全し、さらにその周辺部を自然公園に指定するなどして自然環境を守り、施設が目立たないように景観に配慮する必要があります。</p> <p>また、交通安全、騒音対策として、幹線(県道前橋伊香保線)沿いに橋を設けて、ごみの搬出入ルートを確認してください。</p> <p>ごみ処理施設は、施設規模を抑えるとともに最新の設備による汚染対策を講じたものとしてください。</p> <p>ごみ最終処分場は地域の重要なインフラですが、近隣にとっては迷惑施設であり、財産価値の低下につながるため還元施設を設けるなど配慮する必要があります。</p> <p>また、全体計画、建物配置などの施設計画作成時には、近隣住民の意見が反映される手法を採用してください。</p>	<p>いただいたご意見については、選定を進める中での参考意見とさせていただきます。</p> <p>ごみ最終処分場については、あくまで渋川地区広域市町村圏振興整備組合が主体となつて実施する事業となりますので、連携して、また皆様のご意見を頂きながら事業を進めてまいります。</p>	無
16	<p>町の経済収支比率を見ても、今後の財政確保は課題であり町内で経済を循環してゆくことも大きな課題。</p> <p>町内在住者が町内でお金を使う仕組みづくりは必須と考えます。子育て世代が公園などに出かけた際、ごはんを食べたり、遊んだりする場所が吉岡町には少ないです。</p> <p>今後はそういった場所への先行投資が必要だと強く感じます。</p>	<p>町の経常収支比率は、直近2年において類似団体と比べ低い水準を示していますが、今後、優先的に実施しなければならない給食センター等の建設事業も予定されております。</p> <p>ご指摘の子育て世代の皆様が求めておられる投資への財源配分も含め、バランスを取りながら健全な財政運営に努めていきたいと考えております。</p>	無
17	<p>アンケートから『愛着度』、『定住意向』ともに良い結果ですが、そこに甘んじることなく、今後も維持していくためには現状維持ではなく、若い世代の新しいニーズ、要望にも対応していく姿勢が大切だと感じています。</p>	<p>若い世代の方々を含め、住民皆様のご要望にお答えし町の魅力を向上していけるよう、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
18	<p>住民ワークショップの回答からも多様な要望があることが伝わってきますが、このようなワークショップが開かれていたことを知りませんでした。 どのような形で募集があったのか知りたいです。 知っていたら参加したかったと思いました。 開催した4回とも同じメンバーでの開催なのか、それとも違うメンバーだったのか、どんな年齢層、男女比の回答なのか、なども知りたいです。 そこも表記するとイメージしやすいと感じました。 今後もこのようなワークショップを定期的に継続し住民との対話する機会を継続して欲しいです。 回答された要望について、町としてどのように対応をしたのか、または今後対応するののかも記載が欲しいと思いました。</p>	<p>住民ワークショップは、令和2年1月に各自治会へ年齢、性別、役職問わず2名程の推薦をご依頼し、参加いただいたものでした。2月より開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり数度の延期と時間を短縮するなどして3回開催させていただきました。 自治会からご推薦いただいた方は22名、参加いただいた方は以下のとおりです。また、各回において出席者、欠席者は異なりますが、同じメンバーの方々となります。 【参加者】 第1回:19人 第2回:17人 第3回:14人 ※構成 男性:7名 女性:15名 計:22名 20代:1名 30代:2名 40代:8名 50代:4名 60代:3名 70代:4名 計:22名</p> <p>フェースガード、手袋、飛沫防止パネル、使い捨て筆記用具、消毒、マスク、換気など感染防止対策を徹底し開催しました。 町としましては、総合計画に係る庁内外の策定組織に対し当該結果を展開、検証し、今後の目標や方向性を示す基本構想と主要施策を示す前期基本計画にて対応を図っていくものとなります。 また、ワークショップの概要等は、総合計画冊子の資料編に掲載するなどを検討させていただいております。今後におきましても、ワークショップ等住民参画の取組を庁内全体で実施してまいります。</p>	無
19	<p>個人的意見としては、公園の少なさや利用しにくさ(遊具が少ないことを挙げるかたは多数いるように感じます)、学童保育の充実に関しては希望している保護者も多いと感じています。そこは今後の吉岡町への愛着度や定住意向にも関わる重要な部分だと感じているので早急な改善を求めます。</p> <p>(明治の学童建設に関しては建設を決定してくださったことに感謝しています。そして大きな期待もしています。子どもたちの放課後の時間が充実したものになるよう、そこを使用する全ての人が利用しやすい環境が整うことも望みます)</p>	<p>いただいた貴重なご意見を参考に住民ニーズを把握して、新たな公園の設置や遊具の充実に努めてまいります。 また、新たに新設される明治学童クラブ施設については、学童保育ニーズの高まりにより、施設の建設に着手いたしました。保護者の皆様が安心して子育てができるよう、また、子供たちが安全に利用できる充実した施設となるよう最善を尽くすとともに、今後の学童保育ニーズを見極め、学童保育施設の充実に努めてまいります。</p>	無
20	<p>中学生ワークショップに関して、実施されていることを知りませんでした。次世代を担う若い人たちの意見を取り入れることは今後もぜひ継続してやってもらいたい素晴らしい施策だと思います。 行政と町民による協働の基礎になる重要な位置付けのワークショップだと感じました。 吉岡町に学校をつくるという意見もあり、町のことをリデザインしていくような起業家を育てる部門や学部などを創設していくこともできるのではと考えます。 人口が増えている町だからこそできることを掘り起こし、新しい、潜在的なニーズを把握し、実現していく筋道作りも重要だと感じました。</p>	<p>計画立案には、多くの世代の方からの意見聴取が必要と考えております。 『第6次総合計画策定のための住民アンケート調査』では、16歳以上の方を対象としたことから、是非中学生のご意見も伺いたいと、初めての試みでありましたが学校に協力をいただき実施することができました。次世代を担う若い方からのご意見は、大人が考えている以上に非常に有用なものでありました。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。 【参加者】 19人:3年生の生徒会役員や学級委員さん</p>	無
21	<p>今後の新たな視点として、SDGsなど世の中の流れを踏まえながら、行政とともに町民も共に協力し合い、アイデア、能力を出し合うことは今後必須です。その礎を作る重要な理念なので、しっかりとした目標を掲げ、誰が見てもわかりやすいように明記し、そのことを小学生、中学生、高校生、大学生などこれからの世代や町民にも示していくことも重要だと考えます。</p>	<p>町としましては、今後の施策の企画・立案・実行の各過程においてSDGsの理念に配慮するとともに、特定の地域や年代だけでなく、多文化が共生し世界共通で適用される基準や規格に沿った施政運営に努めていく必要があると認識しております。 現在策定中の前期基本計画においても、各施策とSDGsの17のゴールの関連性を明記し、国際目標に係る町の役割を示してまいります。</p>	無
22	<p>プラットフォーム・ビルダーへの転換の項目について 官民協働をしていくにあたり、公による支援、環境整備は必須と考えます。たくさんの意見や希望があるとは思いますが、やるべきことを適したタイミングで始めるため、行政からの後押しの姿勢、実行力を改善してもらいたいと感じます。</p>	<p>(1)2040年の姿、②公共私のからしの維持では、バックカastingによるまちづくりが必要だと考えます。バックカastingとは将来の姿を想像・予想し、その姿になるためにどういうことを今やるべきかを逆算して考えることであり、ご指摘のご意見に関連し今後の参考とさせていただきます。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
23	<p>誰一人取り残さない持続可能な開発目標とは多様性を受け入れるということと繋がっていききます。 これらを言葉だけでなく、実現していくためには今までのやり方とは違った方法を取るという大幅な転換をしていく場面が多々あると思います。 これを本気で取り組む自治体として具体的に町民にもわかりやすく示して欲しいと思います。</p>	<p>第6次吉岡町総合計画では、全施策共通の概念となるまちづくりポリシーの1つとしてダイバーシティを挙げています。多様性を受け入れる風土を目指すものです。 町としましては、今後の施策の企画・立案・実行の各過程においてSDGsの理念に配慮するとともに、特定の地域や年代だけでなく、多文化が共生し世界共通で適用される基準や規格に沿った施政運営に努めていく必要があると認識しております。 現在策定中の前期基本計画においても、各施策とSDGsの17のゴールの関連性を明記し、国際目標に係る町の役割を示してまいります。</p>	無
24	<p>デジタル社会への移行について どの世代にもわかりやすく、扱いやすいそんなホームページづくり、広報づくりは今後も必須と感じます。 特にホームページに関しては、欲しい情報になかなかアクセスできないことが多いと感じています。修正、改善を求めます。</p>	<p>誰もが見やすく、わかりやすい町ホームページと町広報誌となるよう、改善に取り組んでまいります。貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>	無
25	<p>コロナ対策において、公共施設閉鎖に伴う住民活動の停滞感、閉塞感を強く感じました。様々な情報をふまえて、対応を決めていくことの重要性を感じました。(他の市町村と比較しても規制が強めで、威圧的に感じてしまった部分もありました) 今後、模索しながら、もう少し緩やかな対応も可能なのではと感じています。危機管理は重要ですが、住民それぞれのニーズに沿った柔軟な対応が必要になる場面があることを汲み取ってくれるような対応を希望します。 今後の希望としては、一方的にきまりを作り、守らせるのではなく、こういう時こそ、当事者(学校であれば生徒と先生など)と管理者(行政)を含めた『対話』が必要になってくるのではと考えます。トップダウンのあり方から、ボトムアップが必要な時代になっていると考えます。</p>	<p>町有施設の貸出については、群馬県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン」による警戒度を基準としており、当該警戒度が最高の4になった場合のみ貸出を禁止している状況です。新型コロナウイルス感染症の拡大により警戒度4である期間が長期間となり、結果的に貸出禁止期間が長引き、住民活動の停滞を感じさせてしまったかもしれません。 町としましては、町民皆様の安心・安全を第一に考えております。町有施設の貸出につきましては、基準に基づいた運用を今後も実施してまいりますので、ご理解いただければ幸いです。なお、今後におきましても警戒度3までは、町有施設の貸出を実施して行く予定です。 貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>	無
26	<p>脱炭素社会についても町のスタンスを示しきれていないように感じます。 町としてどのような対応、対策をしているのか知りたいです。 (経済的な補助制度や対策などがあれば)</p>	<p>脱炭素社会に資する取組としては、太陽光エネルギーを利用した住宅用太陽光発電システムを設置者に対し補助することにより、環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進に寄与することを目的として、「住宅用太陽光発電システム設置整備事業費補助金事業」を実施しております。 今後も、脱炭素社会の実現に向け、取り組みを進めてまいります。</p>	無
27	<p>子どもたちを育てる世代のニーズに答えていくことは、今後の吉岡町の未来を作っていくことにつながると考えます。 今ある施設を生かしつつ、新しい展望を見据え、実行していく転換期とも捉えられます。このコロナ禍で行動や遊びを制限されている子どもたちの体力、知力の成長にも大きな影響が出ていると感じています。屋内では密集を避けるために制限があることも、屋外では可能だと思います。 子どもたちの体力づくりのためにも遊具が充実した公園づくりをまず1箇所からでも進めていただきたいと切に願います。</p> <p>【参考:スキャモンの発育曲線によるデータ】 神経型は、脳や脊髄、視覚器などの神経系や感覚器系の成長を示すものです。神経系や感覚器系というのは、生まれてから早い段階で、大人と変わらないレベルにまで成長を遂げます。 したがって、神経系の発育曲線は、出生後から一気に増加し、成長期(12歳くらいまで)には100%の状態にまで達します。 幼少期の運動経験がその人の一生の運動機能に影響するというデータです。</p>	<p>住民ニーズにより、「城山みはらし公園」を整備し、令和元年に開園したところでございます。また、「上野田ふれあい公園」に新規遊具の設置を今後予定しております。 いただいたご意見を参考に、新しい生活様式を意識しつつ、子どもたちの遊びの場として充実した公園整備に向けた取り組みを進めてまいります。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
28	<p>吉岡リバーピア温泉の周辺には充実した運動広場、サイクリングロード、道の駅、地域の方が運営されているお饅頭屋さん、など集客を見込める施設に加え、公園(天神東公園、エネルギーパーク)もあります。</p> <p>この周辺一帯を総合レジャー施設と捉え、再度整備をし、町内での経済循環、加えて町外からのファミリー層などの誘客も見込む施設として再開発が可能ではないでしょうか。</p> <p>町民も巻き込んでみんなで創り上げるというコンセプトを持って取り組むことも可能だと感じます。</p>	<p>道の駅周辺の有効活用については、町におきましても以前より検討を行っております。周辺整備については、様々な諸問題もありますが、道の駅よしか温泉を含めた総合的なブランド力向上を図るため、現在策定中の前期基本計画において引き続き検討してまいります。</p>	無
29	<p>11/1から開始された「児童生徒の学習環境整備のためのクラウドファンディング」はとても素晴らしい取り組みです。</p> <p>このクラウドファンディングを立ち上げることに関わった関係者の皆様の新しいチャレンジの仕方を今後も応援していきたいと思えます。</p> <p>これらと同様に町の施設の改修工事費用などについてもクラウドファンディングなど新しい手法を取り入れるのも一つのアイデアだと考えています。</p>	<p>現在策定中の前期基本計画におきまして、クラウドファンディングの活用を重要視しております。ご提案いただいた内容も含め、今後もクラウドファンディングに適した事業を選別し、取り組んでまいりたいと考えています。</p>	無
30	<p>住民・団体ワークショップの参加者の選出方法や参加者の人数、年齢構成などについて、簡単に説明を入れてほしいです。</p> <p>広報などで募集したのでしょうか。無作為抽出だったのでしょうか。そのような機会があったなら参加したかったと思いました。同世代の意見も入っているのか、何人くらいのメンバーで、メンバーは毎回同じだったのか…など知りたいと思いました。</p>	<p>住民ワークショップは、令和2年1月に各自治会へ年齢、性別、役職問わず2名程の推薦をご依頼し、参加いただいたものでした。2月より開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり数度の延期と時間を短縮するなどして3回開催させていただきました。</p> <p>自治会からご推薦いただいた方は22名、参加いただいた方は以下のとおりです。また、各回において出席者、欠席者は異なりますが、同じメンバーの方々となります。</p> <p>【参加者】 第1回:19人 第2回:17人 第3回:14人</p> <p>※構成 男性:7名 女性:15名 計:22名 20代:1名 30代:2名 40代:8名 50代:4名 60代:3名 70代:4名 計:22名</p> <p>団体ワークショップは、令和2年12月に町内の各種団体(教育、福祉、文化、スポーツ、住民活動、商工会、農業者団体、消防、交通、防犯)の会長の方を中心に依頼し、参加いただいたものでした。1月より開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大する影響もあり数度の延期と1回のみ開催となりました。</p> <p>ご同意いただいた方は21名(団体)、当日参加いただいた方は以下のとおりです。</p> <p>【参加者】 15人(男11人、女4人)</p> <p>※構成 男性:15人 女性:6人 計:21名 30代:3名 40代:3名 50代:3名 60代:4名 70代:8名 計:21名</p> <p>フェースガード、手袋、飛沫防止パネル、使い捨て筆記用具、消毒、マスク、換気など感染防止対策を徹底し開催しました。</p> <p>いただいたご意見は、総合計画冊子の資料編に掲載するなどを検討させていただいております。また、今後におきましても、ワークショップ等住民参画の取組を庁内全体で実施してまいります。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
31	<p>第6次吉岡町総合計画策定の為の住民アンケートの結果として、満足度と重要度についての結果も記載してほしいです。</p> <p>ワークショップで公園に対する声があがっていたようですが、このアンケートにおいても、満足度が2.83と最も低いので、その点について触れて欲しいと思いました。我々、子育て中の親にとって、町内に子どもを遊ばせたいと思える公園がないという現状は、大変な困り感を伴っており、関心が高いです。特にコロナウイルス感染症の流行により、室内の遊び場が閉鎖され、公園へのニーズは以前にも増して高まったと思います。町内に増えている若い世代のニーズとして、より丁寧に扱っていただきたく、低い満足度となってしまった結果も載せていただきたいです。</p>	<p>いただいた貴重なご意見を参考に住民ニーズを把握して、新たな公園の設置や遊具の充実に努めてまいります。</p> <p>また、当該アンケート結果の満足度、重要度等につきましては、総合計画冊子の資料編に掲載するなどを検討させていただきます。</p>	無
32	<p>6【町民と行政が協働するまち】について、「情報を届ける」ことが課題としてあげられていますが、「意見を吸い上げる」ことについても課題として扱ってほしいです</p> <p>過去のパブリックコメントなど見ると、件数も少なく、「意見を吸い上げる」という点においては、まだまだ課題もあるのではないかと思います。町のホームページの「ご意見・ご要望」のページが見つけにくい場所なのも気になります。</p> <p>一方で、今回の計画策定にあたり、住民・団体ワークショップ、中学生のワークショップなどが行われたことは、大変素晴らしいことと思えました。これからも、子どもから大人まで、町に対してや、住民同士で意見を言える仕組みや機会を増やして欲しいと願っています。町民参加の広く開かれたまちづくりに期待しています。</p>	<p>誰もが見やすく、わかりやすい町ホームページの改善に取り組んでまいります。</p> <p>ご指摘の広聴に関しましては、各種ワークショップの開催が他の計画策定や施策において実施されるよう、その重要性和有用性を庁内に展開してまいります。</p> <p>また、その他様々な町民参画の取組が推進するよう、努めてまいります。</p> <p>ご意見については、今後事業を進めるうえで参考とさせていただきます。</p>	無
33	<p>群馬県富岡市の取り組みで、公園整備に関して、子育て世代へのアンケート、新規遊具の人気投票やSNSを活用した情報発信という新聞記事(2021.10.4 上毛新聞)を見ました。吉岡町の公園設備に関しても、従来のやり方にとらわれず、広く町民の意見が反映されるような進め方をして欲しいと願っています。</p>	<p>意見の吸い上げや情報発信としてのSNS活用については、庁内の様々な部署で今後進めてまいります。SNSの活用や座談会等を通して地元自治会や子ども育成会等の意向を伺い、ニーズを把握しながら、新たな公園の設置や遊具の充実に努めてまいります。</p>	無
34	<p>上記と同じ理由で、協働のまちづくりの推進手段として、自治会やボランティアへの支援だけでなく、「情報発信」「意見の吸い上げ」「よりよい町づくりについて町民同士が意見を言い合える環境づくり」などの内容も文面として入れて欲しいと思います。</p>	<p>町政参画機会を充実し、政策決定過程に広く住民意見を取り入れ、協働のまちづくりに取り組むとともに、いただいたご意見は現在の策定中の前期基本計画にて検討を進めてまいります。</p> <p>また、幅広い世代の多様な意見反映を図るため、募集施策の拡充を検討してまいります。</p>	無
35	<p>「学びのまち・吉岡」について、文面の中で就学前の子どもの教育についても触れて欲しいです。</p> <p>総合計画の中において、子育て支援という視点だけでなく、幼児教育、就学前教育という視点も欲しいと思います。昨今叫ばれている「非認知能力」を伸ばすには自然に触れたり、公園などで思い切り遊んだりする経験が大事だと言われていると思います。町内には公立幼稚園保育園はありませんが、小学校教育へのスムーズな移行のために、これまでも連携しているかと思えますし、図書館や児童館などを中心とした体験活動の機会提供、遊ぶ場所の整備など、町として、義務教育以前の学びも大切に考え、育んでいくという姿勢が示されると、「赤ちゃんから生涯に渡る学び」ということになり、いいと思います。</p>	<p>遊びや各種体験を重視した就学前の教育(幼児教育)と小学校教育の円滑な接続が、児童の成長・発達のために大変重要なポイントであると考えています。</p> <p>今後、基本構想で示された教育に係る基本目標に基づき、前期基本計画が策定されますが、ご意見のあった就学前教育(幼児教育)と小学校教育の連携については、この中で触れていきたいと考えております。</p> <p>なお、いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想修正の有無
36	<p>住民・団体ワークショップを開催とありましたが、どのような選出で幅広い年齢の方で行っているのが気になりました。 10ページの中学生ワークショップ、これからを担う若い世代に意見を聞くことはとても素晴らしい事だと思いました。</p>	<p>住民ワークショップは、令和2年1月に各自治会へ年齢、性別、役職問わず2名程の推薦をご依頼し、参加いただいたものでした。2月より開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり数度の延期と時間を短縮するなどして3回開催させていただきました。 自治会からご推薦いただいた方は22名、参加いただいた方は以下のとおりです。また、各回において出席者、欠席者は異なりますが、同じメンバーの方々となります。 【参加者】 第1回:19人 第2回:17人 第3回:14人 ※構成 男性:7名 女性:15名 計:22名 20代:1名 30代:2名 40代:8名 50代:4名 60代:3名 70代:4名 計:22名</p> <p>団体ワークショップは、令和2年12月に町内の各種団体(教育、福祉、文化、スポーツ、住民活動、商工会、農業者団体、消防、交通、防犯)の会長の方を中心にご依頼し、参加いただいたものでした。1月より開催する予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大する影響もあり数度の延期と1回のみで開催となりました。 ご同意いただいた方は21名(団体)、当日参加いただいた方は以下のとおりです。 【参加者】 15人(男11人、女4人) ※構成 男性:15人 女性:6人 計:21名 30代:3名 40代:3名 50代:3名 60代:4名 70代:8名 計:21名</p> <p>フェースガード、手袋、飛沫防止パネル、使い捨て筆記用具、消毒、マスク、換気など感染防止対策を徹底し開催しました。 いただいたご意見は、総合計画冊子の資料編に掲載するなどを検討させていただいております。また、今後におきましても、ワークショップ等住民参画の取組を庁内全体で実施してまいります。中学生ワークショップも今後も実施していければと考えております。</p>	無
37	<p>次世代に紡ぐ生活環境の充実の中で公園とありますが、吉岡町には遊具のある公園が少なく子供を連れて遊びに行くのは町外の公園がほとんどです。 町内に魅力的な公園があれば町内の人との交流も今まで以上に増え、人と人が自然と繋がる場所作りになるかと思えます。</p> <p>どんな公園が欲しいかなどのアンケートなども幅広い世代に取って頂き地域に愛される公園作りをお願いしたいです。</p>	<p>「上野田ふれあい公園」に新規遊具の設置を予定しております。座談会等を通して地元自治会や子ども育成会等の意向を伺い、ニーズを把握しながら、新たな公園の設置や遊具の充実に努めてまいります。</p>	無
38	<p>住民ワークショップで、数回公園の少なさ、公園の確保、整備という意見がありました。吉岡町が10年後に目指す町の姿の為に、公園という場が「人々の交流の場」「健康維持」「ブランド力・郷土愛」を醸成、貢献できると考えています。 どんな公園が町民の利用したい公園なのか？ワークショップやアンケートを通じて描いていけたら素晴らしいと思えました。</p>	<p>現在、新たな公園整備に向けた検討を進めております。整備に当たっては、SNSの活用や座談会等を通して地元自治会や子ども育成会等の意向を伺い、ニーズを把握しながら、町民に親しまれる公園づくりに努めてまいります。</p>	無
39	<p>町出身ではない子育て世帯が町と密接に関われるような仕組みがあったら良いなと思えます。お金やサービスには換えられない暮らしやすさは、「人とのつながり」にあると考えています。(横のつながりだけでなく、世代を越えた縦のつながり) そのつながりから、住民参画の促進が促される。</p>	<p>現状では、吉岡町児童館を活動拠点とする、「母親クラブ」があり、ファミリーコンサートの開催や運動会、クリスマス会等を実施しているほか、毎月「クラブだより」も発行しています。参加児童や保護者が楽しめる交流の場を広く提供し子育て世帯を応援しています。 また、多世代交流の場としましては、地域福祉交流施設(駒寄小学校西)を活用し、今後実施していく予定がございます。 それらを活用した住民参画の仕組みにつきましても、いただいたご意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	無

第6次吉岡町総合計画基本構想素案に対するパブリックコメントの結果

No.	ご意見	町の考え方	総合計画基本構想 修正の有無
40	先人の思いを、転入世帯がどのように知り、受け取り、次世代へ紡いで行くのか？ 吉岡町としての紡ぎたいモノがもっと明確に知りたい。	先人の礎(思い)は、官民に限らず現在の吉岡町をかたち創るに至った取組と考えております(吉岡バイパスや上毛大橋、駒寄スマートICの設置や商業施設の立地、地域における自治会活動やお祭りなど伝統文化、住民の方の地域での活動など)。 また、全ての住民が分け隔てなく、ともに手を携え、まちづくりを進めていける風土を築いていければと考えております。 紡ぎたいモノとし、町の取組としましては、現在策定中の前期基本計画によりお示しさせていただければと考えております。	無
41	町の人口増加に伴い子どもの数も著しく増えています。学校教育以外の教育施設や場所、日曜学校的な機会が増えることを望みます。 隣接市に比べて企画や催しが少ないと感じています。	現在、子ども対象の講座等を夏休みを中心に開催しているほか、長期休みには文化センター研修室で自主学習会を実施しています。 今後におきましては、現在策定中の前期基本計画の中で、学習機会の充実について触れていきたいと考えています。	無
42	公園について、水遊びのできる設備や公園遊具の増設を希望する親子の声をよくききま す。身近な町内で心身ともに成長する場を増やしてもらいたいと思います。	現在、新たな公園整備に向けた検討を進めております。また、「上野田ふれあい公園」に新規遊具の設置を予定しております。 いただいたご意見を参考に、新しい生活様式を意識しつつ、子どもたちの遊びの場として充実した公園整備に向けた取り組みを進めてまいります。	無